



仁美小だより

赤磐市立仁美小学校
平成28年11月号
編集：河本 弘志
NO. 8



学校教育目標 「きりり 自ら学ぶ」

・進んで学ぶ子（確かな学力）・思いやりのある子（豊かな心）・元氣な子（たくましい心と体）

ホームページアドレス
<http://jimbies.city.akaiwa.okayama.jp/>

充実した秋に！

朝夕すっかり肌寒くなってきました。スポーツの秋、文化・芸術の秋、読書の秋…。寒すぎることもなく暑すぎることもなく、過ごしやすい気

候から活動に適していることから、このように言われているのでしょう。しかし、朝夕と昼の温度差も大きく、風邪をひくなど体調を崩しやすい季節でもあります。また、多くの行事もあり、疲れがたまる時期でもあります。体調に気を付けて、秋をしっかりと楽しんでほしいと思います。10月27日～11月9日は、読書週間にもなっています。読書の秋です。いろいろな本に挑戦してみましょう。

スポーツの秋



かっこよく跳んだり走ったり・・・

今年も、環太平洋大学の先生と学生に2回き



ていただき、全校児童対象に「陸上教室」を行いました。

1回目は、あいにくの雨で、体育館で基本的な体の動かし方、走り方などを中心に指導していただきました。

2回目は、天候にも恵まれ、運動場で走り幅跳び、走り高跳び、ハードルなどの指導をしていただきました。この日は、学生さんも2人来てくれ、模範演技（高跳び・ハードル）も見せていただきました。リズムよく軽快に跳ぶハードル、自分たちの身長よりも高いバーを楽々と跳ぶ学生の演技に子供たちは大喜びでした。ちょっぴり速くちょっぴり遠くに、ちょっぴり高く走ったり跳んだりできるようになったような気分でした。そして、陸上記録会（校内・市・東備地区）に向けて、放課後練習にも取り組みました。自分の記録を少しでも伸ばすために、この陸上教室で学んだことをもとに練習に取り組みました。

そして、赤磐市そして東備地区学童陸上記録会には、藤井希空さんが、ソフトボール投げで出場しました。他校の選手に混じって自己ベストをめざして頑張りました。

芸術の秋

10月28日（金）、3年生以上の児童を対象に七宝焼き教室を行いました。



講師は、日本工芸会の岩本文子さんと赤井恭子さんです。最初に、七宝焼きについての簡単な説明を聞いた後、世界



に一つだけの自分だけの七宝焼きのキーホルダーづくり挑戦しました。銀箔をはさみで切って貼りつけたり、竹串で色を付けたりととても細かい作業ですが、見本作品のような素敵な作品ができるのを楽しみにしながら、夢中になって作りました。

文化の秋

です。10月14日(金)、今年も文化庁の「文化芸術に



よる子どもの育成事業」の一環として「ミラクル・マリンバコンサート」を開催しました。

第一線で活躍されている浜まゆみさんと金丸寛さんの2名の方をお招きして、楽しいひとときを過ごすことができました。



大きなマリンバから出てくるきれいな音色に思わずうっとり聞き入ってしまうほどでした。また、マレット(バチ)の種類が多さや4~6本のマレットを巧みに操って演奏する様子に驚きと感動の連続でした。演奏の合間には、実際にマレットの扱いの練習をしたり、マリンバをたたかせてもらったりして、大変楽しいコンサートになりました。



また、10月13日(木)には、南極教室を行いました。これは、学校生協が主催し、協賛しているミサワホームの南極観測隊参加経験のあるスタッフによる授業です。子どもたちにとって“未知の世界”である南極での活動を伝えることで、未来を背負う子どもたちに夢と希望を届けることを目的に行われているものです。

この日は、夏隊・越冬隊含め数回参加した経験のある「井熊隊員」から、南極の自然や動物、観測隊の仕事などについて写真やビデオを見ながら分かりやすく教えていただきました。自分の体温で暖くなる観測隊員の服、そっと耳を近づけるとじわじわと溶ける音がする南極の氷(事前に送られてきて、冷凍庫で保管していました。)などに驚きと感動を味わい、また、零下40~60度の中でのいろいろな実験や南極の動物などの話を、大変興味深く聞くことができました。、

4年生 関谷研修より

10月6日(木)~7日(金)、4年生5名が、城南小学校の友だちと一緒に1泊2日の関谷研修に参加しました。関谷学校は、豊かな自然に囲まれ、今年4月には日本最古の庶民の学校として“日本遺産”に登録された歴史薫る素晴らしい研修所です。国宝の講堂での論語学習は、江戸時代の庶民教育として行われた当時と同様の形式で、当時の庶民の学校を体験することができました。



緊張感漂う講堂学習

ピカピカの床に丸いわらの座布団、講師の先生のきりっとした声に思わず姿勢を正して論語を復唱しました。緊張感と共に何とも言えませんがしさを感じました。その後のブライントツアーやアドベンチャーなど、わくわくドキドキしながら、友だちと一緒に思う存分楽しむことができました。



野外炊事では、慣れない包丁を手に、ジャガイモやにんじん、タマネギを切ったり、肉を炒めたりしました。火熾しに苦労しながらも何とかカレー作りに、また、飯盒炊さんにも挑戦しました。焦げた班もありましたが、どの班もおいしいカレーライスを作ることができました。



夜には、2校の子どもたちが心を一つに、キャンドルサービスをしました。女神役の杉本さんが女神の姿で、蠟燭を掲げて入場して始まりました。中央の燭台に点火した後、各班のスタンプ(出し物)の発表をしました。2回の交流学习で計画・練習をしてきたことの発表です。踊り有り、クイズ有り大いに盛り上がりまし



た。当初、なかなかなじめなかった2校の子どもたちも、いろいろな活動を通して、仲良くなることができました。

校外学習

10月21日(金)全校で、姫路科学館と赤穂海浜公園に行きました。姫路科学館は、3つのフロアに分かれていて、それぞれのフロア毎に各種展示や実験設備があり、ただ見るだけでなく実際に体感できるようになっていて、子供たちは楽しく、見たり観察したり、実際に動かしてみたりしながら、思う存分楽しむことができました。



1階フロアは、「地球と郷土の自然」コーナーです。恐竜の全身骨格模型や昆虫の標本など多くの展示がありました。

2階フロアは、「身の回りの科学」コーナーです。ここでは、実際に機械を操作しながら、不思議な現象を体験できるようになっていて、どんどん挑戦していました。

3階フロアは、「私たちの宇宙」コーナーです。ここでも、実験やビデオを通して、宇宙の不思議について学べるようになっていました。



科学法則を直接体感できる実験設備、豊富な映像で、「あれ?」「どうして?」「ふしぎ?」と思った子も多かったのではないのでしょうか。子供たちの「科学する心」を大いに刺激するひとときでした。

次の赤穂海浜公園は、とてもきれいな芝生の中にたくさんの遊具(アスレチック)があり、思い切り遊ぶことができました。

案山子まつり

案山子祭りに各学年より

出品しました。運動会が終わって短時間での制作でしたが、各学級でアイデアを出し合いながら、みんな

で協力して作り上げました。残念ながら、優秀賞はいただけませんでしたが、楽しんで制作しました。この案山子は、来年度、仁美っ子農園に立てる予定です。今、玄関前ピロティーに展示しています。



「役に立つ」という言葉

暗いニュースが多い中、今月上旬、うれしいニュースが入りました。それは、昨年

に続き日本人のノーベル賞受賞のニュースです。東京工業大学の 大隅良典 名誉教授が、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。受賞理由は、「オートファジーの研究」だそうです。その、大隅教授が言われていた言葉に「えっ」と思ったことがありました。それは、「『役に立つ』という言葉は科学をダメにしていると思っています。」という言葉です。「世の中の役に立つ人になりなさい。」私自身よく言われ、また子供たちにも言ってきた言葉です。大隅教授の研究は、基礎的な研究で、すぐに世の中の役に立つことはありません。しかし、その基礎研究を土台に様々な分野で応用されたときはじめて役に立つものになるのです。基礎研究がなければ当然応用することもできません。大隅教授は、目先の利益のみを追求していると、いつかは応用もできなくなり科学の進歩ができなくなることを憂えての発言だったのだと思います。このことは、教育の面でも大切にしなければならないことだと思います。目に見えるもの(テストの点や作品づくりなど)だけを追い求めるのではなく、その土台となる生活習慣や読書習慣、様々な体験学習など大切にしていって、長い目で見たとき、子供たちは自分らしさを発揮し、大きく成長していくのではないのでしょうか。



■ 11月の行事予定

日	曜	行事予定			
1	火	音楽指導(大塚先生)3・4校時	16	水	ICT
2	水	赤磐市音楽会(山陽北小学校)	17	木	学力定着度確かめテスト(4・5年) ぐんぐん
3	木	文化の日(休日)	18	金	仁美ふれあい祭り準備
4	金	委員会活動 緊急地震速報訓練	19	土	
5	土		20	日	仁美ふれあい祭り
6	日		21	月	振替休業日
7	月	さわやか朝会	22	火	ALT バースデイランチ
8	火	ALT 体重測定	23	水	勤労感謝の日(休日) PTA 天体観測会
9	水	学習発表会予行 ICT	24	木	ぐんぐん
10	木	安全点検日 ぐんぐん 給食試食会 歯科検診・相談	25	金	読み聞かせ(1・2年) クラブ活動
11	金	学習発表会準備	26	土	廃品回収
12	土	学習発表会	27	日	
13	日		28	月	さわやか朝会 仁美小学校図書祭り(~12月9日) 教育相談週間(児童対象)
14	月	振替休業日(11月11日分)	29	火	
15	火	吉井中学校チャレンジワーク	30	水	吉井地区ノーメディアデー

11月目標

正しい言葉づかいをしよう

- 友だちの呼び方 ○返事の仕方
- 先生や目上の人に対する話し方 ○発表の仕方など

転入生紹介

山本穂花さん(1年)
和気町本荘小学校からの転入生です。
元気で、とても頑張り屋さんです。仲良くしていきましょう。

地震の対応について

先日、21日に鳥取県中部で震度6弱という強い地震(鳥取中部地震)が発生し、ここ赤磐市仁美地区でも強い揺れがありました。その日は、全校校外学習で、発生時(14時7分頃)は、赤穂海浜公園内にいて、さほど大きな揺れは感じませんでしたが、その後も強い揺れが幾度となく起こりました。今回の地震で特に被害はありませんでしたが、今後、このような大規模な地震が発生した場合の対応について、今一度確認をしておきたいと思います。(基本的には、その時の被害状況、余震の状況等を考え校長が判断しますが、判断の目安を次のようにします。)

- | | |
|-------------|---|
| 1 震度3以下の場合 | 校舎の被害を確認後、普通授業に戻ります。迎への必要はありません。 |
| 2 震度4程度の場合 | 校舎等の被害状況、余震の状況等を確認して、引き続き教育活動を続けるか、保護者への引き渡しをするか校長が判断します。 |
| 3 震度5弱以上の場合 | 保護者への引き渡しをします。(保護者が来られるまでは、学校で待機させます) |